

もっと知りたい食べ物のこと

食の原点は中国にあり

JR池袋駅を北口に降りる。もう3年くらいになるだろうがこの毎朝の生活も。地上へ這い上がる階段を抜けると、眠らぬ無秩序な町が、唯一サラリーマンたちを規則正しく歩かせる時間帯。この町にはいろいろな香りがあるが、その一つが中国の香りだ。ここ池袋は、中国人居住者が都内でも多い。東京には約13万人の中国人生活者がいて、東京都の人口の1%を占めている。なかでも人口26万人の池袋(豊島区)には約5%、13,000人の中国人が生活し、名実ともに自然発生的なチャイナタウンが息づいている。池袋には中国人のための本格的な中華料理店が相当数あり、なかなか美味しく、日本人経営の中華飯店にはない本格的味わい店がたくさんある。料理・食材も珍しいものに、しばしば出会うことができる。

いつもの調子に戻って、ランチタイムに外出

まずランチお勧めのお店からご案内しましょうか。会社の近くに香港亭(広東料理)という店があります。



都内に19店舗のチェーン展開するグループですが、速くて美味しくリーズナブルなランチを提供してくれます。フカヒレ館かけチャーハンがお勧めです。もちろん、ランチタイム以外では様々な一品料理も豊富です。

次はボリュームたっぷり 大宝(東北料理)の紹介です。ランチは麺類もしくはチャーハンセットでボリュームが多すぎていつも完食できません。ここには豚背骨の醤油煮や蚕唐揚げがあります。珍しいので是非一度、挑戦してみてください。



時間がないときに駆け込む店は、福しん のB定食です。



福しん。豊島区に本社を持つ43店舗展開するチェーン店。私はこの手もみラーメンがあっさりして中華麺らしい味なので大好きです。スタッフは中国の方が多いようですが、みなさんががんばっています。

ここは、時間のない日本人向けのチャイニーズファーストフード店ですね。

少し背伸びをして高級なお店に足を伸ばして紹介します。



まず初めは、池袋の西武前にある青龍門（台湾料理）

お店の中が洒落ています。店全体が円形で円卓のような放射状になっていて雰囲気は独特です。夜は紹興酒で料理を摘むと会話が弾みます。

池袋北口にあるフカヒレのお勧め店 東京中華街 隠れ家的な店で本場中国のシェフが調理するメニューが豊富に揃う。四川風料理ですが、とても美味しい味付けで好評の一品です。



中華麺、点心、焼飯、北京タック、各種スープに珍品メニュー、池袋には様々な特徴ある中国料理店を数多く見つけることができます。是非、貴方の味覚で探索してください。こんな中華料理を生み出した中国という国土は、アジアからヨーロッパに渡りとしてつもなく広大で、多民族による栄枯盛衰 5000 年の歴史をへて炎の食文化を創造してきました。代表的な地方料理として山東、四川、江蘇、浙江、広東、湖南、福建(台湾)、安徽料理などが有名です。また足のあるものは机以外は何でも食べるともいわれるくらい、食には貪欲です。今後とも世界の食に影響を与え続けていくので目が離せません。

中国と食糧はどこに向かうのか

2008 年、中国は経済発展のさなかに北京オリンピックを迎えます。そして 2010 年上海では世界万国博覧会が開催されます。都市には更に人口が集中し、経済発展と社会変化が加速されます。

中国は 13 億の民を有し、人類の 5 人に 1 人は中国人です。中国に富が集まり都市に人口が集中すると、世界のエネルギーと食糧はこの集中化を支えるために猛烈に中国にシフトせざるを得ません。

中国が健全に安定成長することが、今世界中から求められています。これまで多くの糧を中国に求めてきましたが、健全な状態で安全なものを信頼関係と良いシステムの中で供給してもらうように協力していくことがパートナーとして大切です。中国食糧は今、残留農薬、抗生物質、添加物問題などで輸入各国から疑念を付けられています。日本でも命令検査で以前より厳しく検査されていますが、水際検査だけでは不十分で機能しないことは誰の目にも明らかです。検査をされるから安全なものを作るのではなく、食品本来の価値を問い直し、効率的な生産を進める場合にも十分安全が保障される生産手段を採用して欲しいものです。またそうしたシステムや技術を支援したいものです。

近くて未だ遠い中国をちょっとだけ池袋で感じています。

検体検査・食品衛生に関するお問い合わせは 株式会社BMLフード・サイエンスに

お問合せ先 電話 03-3988-0455 FAX 03-3989-1646